

協定校留学【終了】報告書

※現地の様子や大学の風景、ご友人との写真を添付して頂けると大変参考になります。ご協力ください。

※帰国後1カ月以内に提出(送信)してください。

※津田塾大学海外留学(派遣・受入)奨学金受給者はこの報告書をもって奨学金受給者報告書とします。

留学先大学	ヨーク大学	氏名	
国名	イギリス	学籍番号	
留学期間	2023年 9月 ~ 2024年 7月	記入年月日	2024年 10月 10日

1 履修したすべての科目についてお書きください			
主な専攻分野: History of Art			
科目名	The English Country House	科目名	Tradition and Innovation: The Art of the "Insular World"
授業内容	16世紀半ばから19世紀後期までのカントリーハウスの視覚的要素(建築、内装、美術品、庭、景観)を分析する授業。	授業内容	アイルランドとイギリスの初期中世美術を、当時の社会や政治との関わりなども含めて学ぶ授業。
授業形式	講義・セミナー	授業形式	講義・セミナー
単位数	20	単位数	20
サイズ	12人	サイズ	12人
難易度 Course No.	難	難易度 Course No.	難
宿題の量	多い(リーディング+プレゼン準備)	宿題の量	普通(リーディング)
コメント	評価(エッセイ3000 words)。毎週1つずつ違うカントリーハウスを扱う。図面や二次資料を使いながら分析し、カントリーハウスの変遷を見られるのが面白い。フィールドワークで実際にカントリーハウスを訪れる機会もある。プレゼンは2週に1回の頻度で行う。リーディングの量は1回の授業につき100ページを超えることも多く、授業準備に割く時間は長かった。	コメント	評価(エッセイ2000 words+レポート1000 words)。フィールドワークあり。エッセイとは別にレポートと呼ばれる美術品の分析を行う課題があり、視覚的に分析を細かく行うのが楽しかった。
科目名	Art and Its Institution	科目名	Writing Art History
授業内容	美術品の展示に関して、公共、外交、法律などの観点から考える授業。	授業内容	ヨークに関連するアートを1つ選び、3000 wordsのエッセイを書く授業。
授業形式	講義・セミナー・ワークショップ	授業形式	チュートリアル
単位数	20	単位数	20
サイズ	講義60人・セミナー15人	サイズ	教授と1対1
難易度 Course No.	普通	難易度 Course No.	普通
宿題の量	普通(リーディング+事前課題)	宿題の量	普通(リーディング+エッセイ)
コメント	評価方法(エッセイ2000 words)。学科必修。現在の社会情勢や外交問題などの観点から美術品の展示に関して考えることができるのが面白い。他の授業とは違い、3時間のPBL型のワークショップが隔週であるのが特徴。	コメント	評価(エッセイ3000 words)。留学生のためのモジュール。必修。アカデミックライティングや美術史特有の視覚的分析の方法などを学び、3000 wordsのエッセイを完成させる授業。自分の選んだアートをもとに、教授との個人ミーティングをメインに進めるため、フィードバックをもらう機会が多く、勉強になった。参考文献を読むのも、エッセイを書くのもとても楽しかった。

5ページまでありますのでP2, P3, P4, P5への記入もお願いいたします

科目名	Three Rogue Architects: Michelangelo, Borromini, Hawksmoor	科目名	The Arts of Italy and the “Global Renaissance”
授業内容	Michelangelo, Borromini, Hawksmoorの3人の建築家がルネサンス、近世ヨーロッパの建築においてアウトサイダーとなった要因を考える授業。	授業内容	都市ごとにイタリアの美術(1350-1550)について学び、イタリア美術と異文化のつながりについて分析する授業。
授業形式	講義・セミナー	授業形式	講義・セミナー
単位数	20	単位数	20
サイズ	12人	サイズ	講義30人・セミナー12人
難易度 Course No.	難	難易度 Course No.	普通
宿題の量	多い(リーディング+プレゼン準備)	宿題の量	普通(リーディング+プレゼン準備)
コメント	評価(エッセイ3000 words)。2週間に1回ペアでのプレゼンあり。リーディングの量、プレゼンの準備ともに割く時間は多かったが、内容が面白く、エッセイも楽しんで書いていた。それぞれの建築物の図面や内装、建築家とパトロンの手紙のやりとりなどから建築家の価値観や特徴を分析できるのが面白い。	コメント	評価(エッセイ3000 words)。1回ずつ個人プレゼンとグループプレゼンあり。セミナーは2、3人でのディスカッションが多い。イタリアの都市と芸術の関わりを見ることができるのが面白い。また、フレスコと部屋の関係や、絵画の中で描かれる輸入品などに注目して異文化間のつながり、外交、政治なども学ぶことができ楽しかった。
科目名		科目名	
授業内容		授業内容	
授業形式		授業形式	
単位数		単位数	
サイズ		サイズ	
難易度 Course No.		難易度 Course No.	
宿題の量		宿題の量	
コメント		コメント	
科目名		科目名	
授業内容		授業内容	
授業形式		授業形式	
単位数		単位数	
サイズ		サイズ	
難易度 Course No.		難易度 Course No.	
宿題の量		宿題の量	
コメント		コメント	

6	医療保険についてお書きください	
	渡航前に加入した保険	
	AIG損保	
	留学先大学にあった医療保険制度	
6	NHS	
	留学中に受けた診察(もし差し支えなければ記入してください)	
6	なし	
7	費用について教えてください(実際にかかった費用のみ記入してください)	
	(現地通貨)	
	渡航旅費	400,000 円
	帰国旅費	200,000 円
	引越し(往復で) 500	100,000 円
	保険	250,000 円
	語学研修費	円
	留学先学費 19,755	3,600,000 円
	本学学費	200,000 円
	教材費 100	19,500 円
	住居費 8,978	1,750,000 円
	食費 2,700	527,000 円
	その他(娯楽) 2,560	500,000 円
	()	円
	()	円
合計	7,550,000 円	
換算率 (1ポンド = 195 円)		
受給した奨学金(留学用、給付)があれば記入してください		
なし		
8	留学前の準備について教えてください	
	日本から持参すべきもの	
クレジットカード2枚以上(イギリスは日本よりもキャッシュレス、Apple Payなどもセットしておくとう便利)、変換プラグ、サララップ(イギリスのものはカッターの切れ味が悪かったり、箱が崩壊したりして使いづらかった)、スキンケア用品、トリートメント、粘着クリーナー(部屋の床がフローリングではなくカーペットのため、あると掃除に便利)、ゴム製のスリッパ(バスルーム用)、歯ブラシ(イギリスのものはサイズが大きいいため使いづらい)		
留学前にしておけばよかったこと		
英語の勉強。単語力が足りず、言いたいことがうまく言い表せないもどかしさを感じるがあった。授業のリーディングの量が多いため、アカデミックな英語にもっと触れて、慣れておけばよかったと思う。		

9	<p>適応しにくかったこと(学習面・生活面)があれば、記入してください</p> <p>(学習面)ペアやグループでのプレゼンの取り組み方の違い。グループでも個人で作業をすることが多く、グループ内のコミュニケーション不足からプレゼンの準備が困難に感じるがあった。</p> <p>(生活面)共有キッチンの衛生面が気になるがあった。洗っていない食器が何日もシンクに置かれていたり、カビの生えた食べ物が冷蔵庫に放置されていたりすることがあった。キッチンの窓を開けばなしにしているとリスが入りし、食べ物を盗んでいる姿を目撃することもあり、面白かった。</p>
10	<p>留学の成果(学習面・精神面)を教えてください</p> <p>(学習面)英語力と専門分野への知識の両方において成長を感じる。常にリーディングリストの本を読んでいたことでアカデミックな文を読むのに抵抗がなくなった。また、プレゼンがほぼ毎週あったことは英語力や知識の面だけでなく精神面でも自分の成長につながった。苦戦していたエッセイも前期に比べて後期は、取り組む中で質とスピードの両方で進歩したと感じた。またフラットメイトや友人との会話でカジュアルな英語も使う機会が多く、使える英語の表現の幅が広がったと感じる。専門分野に関しても、イギリスでは狭く深く学ぶことができたため、授業やエッセイを通して専門知識が身についたと感じる。(精神面)どんなことがあっても動じない強い精神力が身についた。公共交通機関の遅延やストライキ、旅先でのトラブルなど日本ではなかなか起こらない出来事を経験するため、多少のトラブルには動揺しなくなった。グループプレゼンで色々な人と共同して作業を行う機会が多かったため、この先どんな環境でも、どんな人とも働けると思うことができた。日本で当たり前だったことが当たり前ではない環境に適応し、留学を完走できたのは自分の中で大きな自信となった。</p>
11	<p>今後の学習計画および進路について(就職活動)教えてください</p> <p>留学先の大学で学んだ専門知識を活かした卒業論文を執筆する予定。</p>
12	<p>留学を目指す後輩へのメッセージをお願いします</p> <p>イギリスで過ごした1年は人生で最も濃く、楽しい1年でした。寮での共同生活、ソサエティやカレッジのイベント、ヨーロッパへの1人旅など初めてのことに挑戦する機会が多くあり、とても刺激的でワクワクする毎日でした。何よりも、今まで出会うことなかった人たちに会い、異なる文化や価値観に触れ、イギリスで大切な友人ができたことを本当に嬉しく思います。大好きな美術にどっぷりと浸かりたくさん勉強したこと、エッセイやプレゼンの準備に終わって夜中まで図書館に籠ったことも、フラットメイト、友人たちと過ごした時間、たくさん旅行に行ったのも全て大切な経験で、私の人生の大きな財産となりました。留学前と後の自分は別人だと思うほど、自分の価値観や物事に対する考え方に变化があり、留学に行ってもよかったと心から思います。英語力や異国の地で生活することに不安もあるかもしれませんが、ぜひ、勇気を振り絞って留学に挑戦してみてください。応援しています！！</p>
13	<p>その他、ご自由に意見を書き込んでください</p>

※本報告書は国際センターホームページに掲載します。下記のいずれかに✓をしてください。

国際センターホームページへの報告書の掲載を

(許可する(写真含む) 写真掲載のみ不可 許可しない)

※Web掲載を許可する場合は、報告書は手書きではなくパソコン入力してください。
ホームページに掲載する際は、個人情報(学籍番号および氏名)は非公開とします。